



RS232 Extender

RS232延長機

型番: EXT-RS232

取扱説明書



安全上の注意

この度はGefen製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- AC100V、50Hz/60Hzの電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 万一、落したり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所/極度の低温または高温の場所/湿気の多い場所/ほこりの多い場所/
振動の多い場所/風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

はじめに

EXT-RS232 は、RS232 信号を CAT5(CAT5e) ケーブルを使用し、最大 300m まで延長することが可能です。

同梱品

EXT-RS232 送信機	1
EXT-RS232 受信機	1
RS232ケーブル (1.8m)	1
電源アダプター	1

インストール

1. RS232送信機 (S) とコンピューターをRS232ケーブルで接続してください。
2. CAT5eケーブルでRS232送信機 (S) とRS232受信機(R)を接続してください。
3. RS232受信機 (R) に使用する、付属のケーブルでRS232デバイスを接続してください。
4. RS232送信機 (S) に付属の電源アダプターを接続してください。
5. コンピューターを起動 (再起動) してください。

仕様

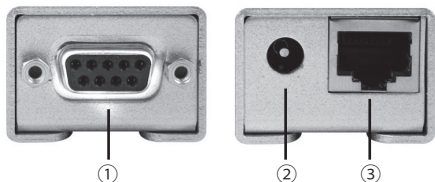
RS232 入力端子	: DB-9 メス
RS232 出力端子	: DB-9 オス
リンク端子	: RJ-45(シールド)
電源	: 5VDC
サイズ	: 3.5W x 9.25D x 2.5H
重量	: 1.3kg/ 台

※外観・仕様は予告なく変更される場合があります。

各部名称

送信機

- ① RS232入力端子 : ソース機器と接続します。
- ② 電源入力端子 : 付属の電源アダプターを接続します。
- ③ リンク端子 : CAT5eケーブルを接続します。



受信機

- ① RS232出力端子 : RS232デバイスを接続します。
- ② リンク端子 : CAT5eケーブルを接続します。
- ③ パワー LED : 電源が正常に通電しているときに点灯します。

